

様式第5号

出張調査報告書

平成29年5月25日

松伏町議会議長

様

会派名 公明党

代表者氏名 川上 力



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成29年5月24日から平成29年5月24日
2 視 察 地	(1) 茨城県龍ヶ崎市 (2) 茨城県水戸市
3 視 察 目 的	(1) 龍ヶ崎市電子母子手帳について ・導入の経過 ・導入の成果(中間) (2) 水戸市国田地区タクシー利用の実証実験 ・公共交通基本計画について ・実証実験導入の経過 ・実証実験導入の成果(中間)
4 視 察 者 氏 名	川上力 山崎隆一郎
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

平成 29 年 5 月 25 日

松伏町議会議長 佐藤 永子 様

公明党
代表 川上 力

出張調査報告書

党派で行政視察を行いましたので、その結果を下記の通り報告いたします。

記

1.調査年月日

平成 29 年 5 月 24 日から平成 29 年 5 月 24 日まで

2.視察地及び視察目的

- (1) 茨城県龍ヶ崎市 電子母子手帳について
- (2) 茨城県水戸市 国田地区タクシー利用の実証実験について

3.視察者名

川上力 山崎隆一郎

4.視察内容及び結果

- (1) 茨城県龍ヶ崎市 電子母子手帳について

① 事業開始の経緯、目的について

もともとは龍ヶ崎市独自で母子手帳の電子化を考えていた。初期投資が 200 万円維持費用も年間 200 万円かかる見込みで計画を変更。国の母子手帳電子化への意向も斟酌し、多くの自治体で採用している株式会社エムティーアイのアプリを採用して、市のホームページにリンクさせることにした。子育てママの育児日記機能や自治体からのお知らせ機能などで市民の利便性の向上を図る。

② 実施方法、予算措置等について

導入段階で株式会社エムティーアイとの契約により、月額 5 万円にてアプリを使用できることになった。市との契約がなくとも電子母子手帳はダウンロードが可能だが自治体の情報共有ができるようにするには、契約が必要となる。

③ 事業における成果等について

全国共通のアプリであることから、例えば龍ヶ崎市から引っ越しても、転入先の自治体でもアプリの導入がされていれば、データを引き継ぐことができる。

保健師への予防接種の問い合わせが減ったほか、10か国語に自動翻訳できるので市内在住の外国人ママさんから非常に好評。

④ 現在の課題及び、今後の取り組みについて

株式会社エムティーアイのビジョンにもあるが、妊娠中から乳幼児期、学童期、思春期、壮年期、高齢期と生まれる前から墓場まで使用可能な電子健康手帳を目指す。

まだまだ運用開始間もないので、事業者と情報交換をしながら、よりよいサービスになるように努めたい。

⑤ 感想

〈川上〉電子母子手帳のほかにも、産後検診費の助成やマタニティータクシーの創設など、子育てにやさしい政策がそろっていると感じた。

〈山崎〉子供の成長過程が記録できるだけでなく、家族間でも共有して見ることができたり、紙媒体と違い紛失しにくいことや、万一紛失してもデータがバックアップされていることが、安心感につながり良いと感じた。

(2) 茨城県水戸市市 国田地区タクシー利用の実証実験について

①事業開始の経緯、目的について

水戸市ではコミュニティバスやデマンド交通を取り入れたことがなく、どのような交通網整備が相応しいか検討していた。総合計画をもとに公共交通基本計画を立て新しい移動手段の検討をしていた。国交省の「タクシー革新プラン2016」の発表を受けて、水戸市内でも余剰のあるタクシーを利用して、すべての人が安心して移動できる交通体系の実現をし市民の利便性の向上を図る。

②実施方法、予算措置等について

県のハイヤータクシー協会の昼間時間帯の稼働率向上に向けた取り組みを利用し、時間貸し運賃の半額をタクシー事業者が負担し、残りを市と利用者で負担する仕組みの実証実験を行った。予算措置としては2,116,920円

③事業における成果等について

国交省の補助金を受けての実証実験は2月から3月にかけて行った。目標としていた運賃収入30%は7.1%に止まり、稼働率の目標一日当たり6回は1.4回であった。ただし利用者のアンケートでは好評であり、周知期間がなかったことも考慮して、水戸市単独で4月から7月まで実験の延長を実施している。

④現在の課題及び、今後の取り組みについて

利用率の向上を図るため、タクシーで行ける場所を増やしたり、従来は10時から16時の間に、2台のタクシーを確保していたが、午前中だけ2台とし、午後は1台での運用に改善している。水戸市の公共交通はバスの効率的な運航が欠かせない。そのために、結末点までの移動手段となりうる、タクシー利用の可能性を更に追求していく。

⑥ 感想

〈川上〉松伏町で進める道の駅のバスターミナル構想も、水戸市のように町としての公共交通の基本計画を立てながら同時並行で進めるべきと感じた。

〈山崎〉特定地域に限って運航されるタクシー事業に、不公平感がないのか疑問であったが、路線バスを活かすためのツールとしてタクシーを利用する考えであり、その試験に適した地域が国田地区しかなかったという説明で理解できた。町での活用には地理的な問題もあると感じた。

以上

工程表

8時00分	松伏町出発 (レンタカー代金 6,318 円) 一般道
10時30分	龍ヶ崎市市役所着 行政視察 (12時まで) 常磐高速道 (高速代金 1,830 円)
14時30分	水戸市役所着 行政視察 (16時まで) 常磐高速道 (高速代金 2,470 円)
18時00分	松伏町着 (ガソリン代清算 1,166 円)